

これからの10年でやるべきこと

これからの10年でやるべきことは、これまでの合併の効果を生かしながら、昨年5月に所信表明で述べた「もっとできること」を実現することであり、それは同時に、津市が重ねる歴史の流れの中で「今やるべきこと」を確実にやり遂げることです。

久居駅周辺地区のまちづくりや大谷踏切の拡幅、津興橋の架け替えなど、市民生活の不便や老朽化したインフラなどは、このままの状態では次の世代に引き渡すわけにはいきません。合併後10年の今、こうした懸案に向き合い、解決策を見だして、着実に形にしなければなりません。

そして、未来を担う子どもたちのための投資も「今やるべきこと」であり、小中学校の普通教室へのエアコン設置や中学生の医療費無料化など、教育や子育て支援を施策の中心に据え、取り組んでいかなければなりません。

「もっとできること」の着実な実行

市政の充実を望むたくさんの市民の声にお応えし、これからの津市をもっといいまちにしていこうため、さらなる高みを目指し、これまで進めてきた「もっとできること」の取り組みに加え、新たな取り組みを始めます。

学校教育環境の整備

- 平成28年度からの5年間で**全ての小中学校の普通教室にエアコンを設置**
- プレハブ校舎解消のための西が丘小学校の増築
- 平成29年春に開校する美里地域の義務教育学校の改修工事



整備中の美里地域の義務教育学校

- 校舎の大規模改造(一志中学校の工事完了、新町小学校の工事開始、藤水小学校・南郊中学校の設計)
- 学校のトイレ改修(小学校7校・中学校3校の工事、小学校5校・中学校3校の設計)

子育てしやすい環境づくり

- 平成28年4月から**保育所の育休退園を廃止**

- 幼保連携型認定こども園の整備に向けた取り組み
 - 平成28年9月から中学生の通院費を助成対象に加え、乳幼児から**中学3年生までの医療費を無料化**
 - 村主放課後児童クラブ施設の新設
- 救急医療・地域医療・地域福祉の充実**
- (仮称)津市応急クリニックの建設工事開始



(仮称)津市応急クリニック・教育委員会庁舎の完成予想図

- 白山・美杉地域の家庭医療を中心とした地域医療の充実(医療・介護・福祉の連携)
 - 地域支援事業の充実(高齢者の生活支援や介護予防サービスの提供体制の整備を図るため地域ごとに協議体を設置、認知症初期集中支援チームを本庁以外にも1チーム設置 など)
- 地域の新たな活力の創出とインフラ整備・老朽化対策**
- 久居駅周辺地区都市再生整備事業の推進
 - (仮称)津市久居ホールの実施設計、旧市久居庁舎の解体工事、周辺用地の買収など
 - 久居市民会館を解体し、交流広場として整備
 - 久居体育館の施設改修
 - 大谷踏切の拡幅(JR踏切の調査、予備設計)
 - 津興橋の架け替え(調査、設計)



架橋後85年を経過した津興橋

- 道路・河川・公園の維持管理の強化、充実
- 狭あい道路拡幅のため提供いただく用地の測量費や門、塀等の除却費などの**助成制度創設**